

■ 9 学生募集に関する事項

ここ数年、経済不況が入試動向に大きく影響を与えており、国公立志向、地元志向、安全志向、資格志向といった傾向が続いている。このような状況下において、有力私立大学を中心に、新学部開設や学部改組、キャンパス移転などを契機として志願者の獲得を強化している。

本学においても2010年度（2011年度入試）では、政策学部政策学科、政策学研究科の新設、短期大学部改組（こども教育学科新設）に加え、入学定員増など学生募集に関わる大きな動きがあり、近畿及び周辺の重点地区を中心に高校、塾・予備校訪問を精力的に行うとともに、各種メディアでの広告掲載と併せて大規模な募集活動を展開した。

また、受験生とその保護者、高校教員、塾・予備校関係者と直接接する機会であるオープンキャンパス、入試直前対策講座などのイベントを重視し、魅力ある内容にするとともに、入試情報サイト整備、メールマガジンの有効活用などによって参加促進を行った。

1 入学試験概要

主な入学試験として公募推薦入試、一般入試（A・B・C日程）、センター試験利用入試（前期・中期・後期募集）を実施した。

●入試制度改革

2010年度入試までは、一般入試A日程、B日程の各1日しか選択できなかった「政治・経済」をA日程の3日間全てで選択可能とした他、センター試験利用入試の受験料を1出願15,000円から10,000円に引き下げた。また、受験会場が居住している地区の付近に設置されているかどうか、私立大学への出願の条件となる傾向があることから、新潟県新潟市、長野県松本市、静岡県浜松市に試験地を新設し、より受験しやすい環境を整えた。

2 学生募集結果

公募推薦入試は10,037件（対前年比98.3%）、一般入試は26,175件（対前年比87.0%）であり、2009年度（2010年度入試）に比べて志願数減となった。大学入試センター試験を利用する入学試験においては、募集区分全体では、

7,467件（対前年比94.9%）、募集区分別では、前期募集5,376件（対前年比90.9%）、中期募集1,773件（対前年比111.0%）、後期募集318件（対前年比88.3%）となり、中期募集のみ2009年度（2010年度入試）に比べて志願数増となった。公募推薦入試、一般入試、センター試験利用入試の合計志願数は43,679件（短期大学部含む）（対前年比90.7%）であり、全入学試験志願数は46,469件（短期大学部含む）（対前年比91.8%）であった。

3 入学志願者募集活動

●高等学校、塾・予備校訪問

入試部員による訪問に加え、課長職位者訪問（2回実施、前年は1回）、部長・次長職位者訪問など、近畿及び周辺の重点地区を中心に、延べ1,100校余り（前年度約1,000校）の訪問を行うとともに、地方試験会場設置地域を中心に訪問機会の無かった高校、塾・予備校に対しても訪問を行い、本学に対する認知拡大に努めた。また、新設学部・学科においても、指定校を中心に訪問活動を行い、認知度向上に努めた。

●本学主催イベントの開催

高校生やその保護者、高校・塾予備校関係者に本学の入試制度、教学内容、在学生の活動を直接伝えられる機会として重視している「オープンキャンパス」は、年6回（深草4回、瀬田2回）開催し、合計12,999人の参加者（前年度11,895人）があった。

また、公募推薦入試、一般入試への出願促進を目的に開催する「入試直前対策講座」は、近畿の他、金沢、岡山、高松など重点地区においても開催した。

これに加え、政策学部新設、短期大学部改組（こども教育学科新設）の認知拡大、志願者獲得のため「受験生応援イベント」、「入試直前対策講座スペシャル版（大阪、京都）」を開催した。

●進学相談会、出張講義への参加

全国各地で開催される「進学相談会」には、入試アドバイザー協力のもと126会場（前年度105会場）へ参加した。また、各学部教職員による「出張講義」や「学問分野説明会」についても積極的に参加し、全学体制で学生募集に取り組んだ。

都道府県別 志願・合格状況〈全入試形態合計（短期大学部を含む）〉

都道府県

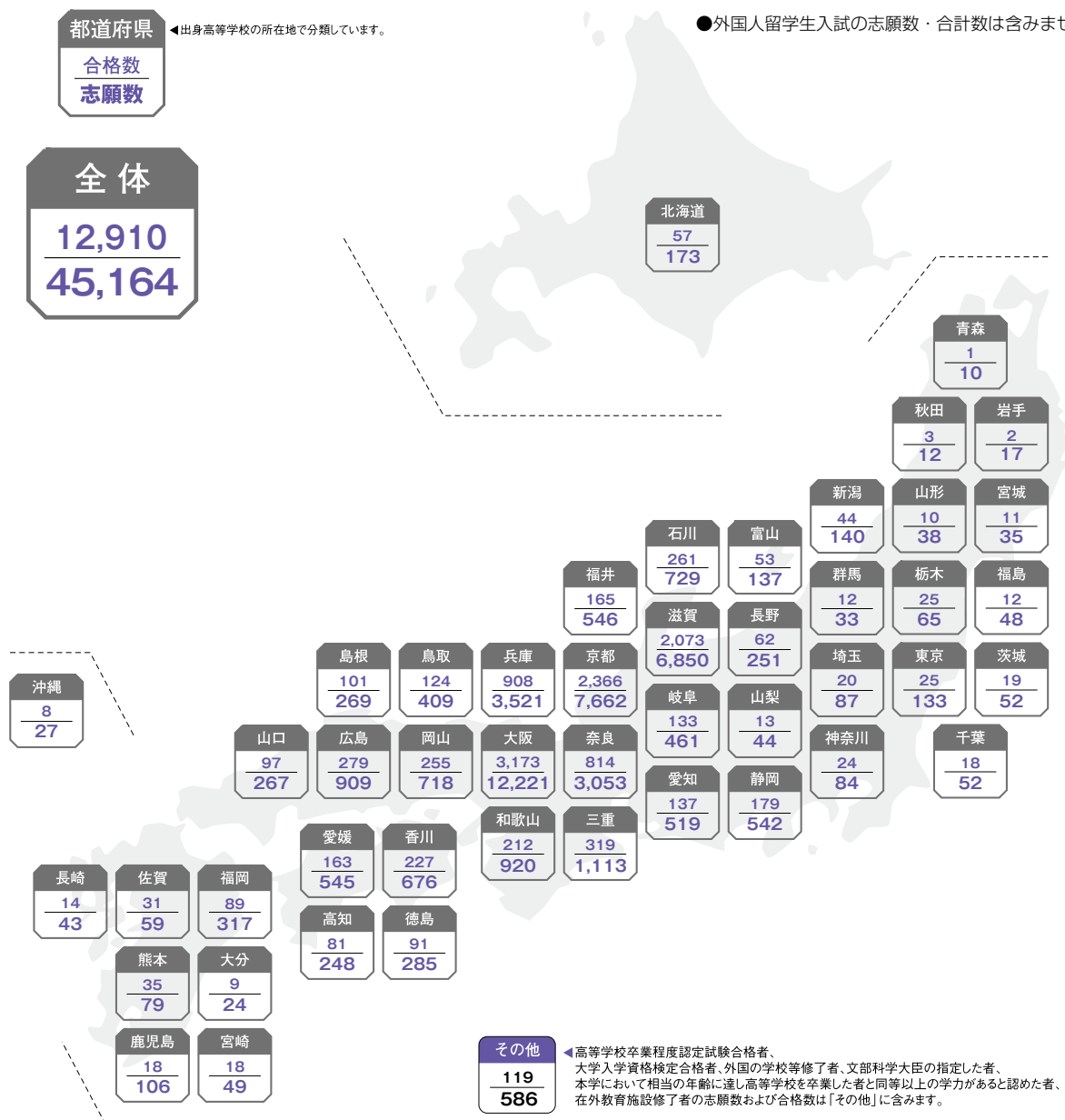
◀出身高等学校の所在地で分類しています。

合格数
志願数

全 体

12,910
45,164

●外国人留学生入試の志願数・合計数は含みません。



その他

119
586

◀高等学校卒業程度認定試験合格者、
大学入学資格検定合格者、外国の学校等修了者、文部科学大臣の指定した者、
本学において相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者、
在外教育施設修了者の志願数および合格数は「その他」に含みます。